



柏葉



学校だより 第35号
 令和5年 1月13日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 渡邊泰昌
 「自分の未来を切り拓け！」

自信と誇りをもち、自立に向かえ！



令和5年 元旦

あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。いよいよ令和5年がはじまりました。保護者の皆様、そして、子ども達にとってすばらしい年になりますよう祈念申し上げます。

表題に書いたものは、東北中学校の学校目標「自信と誇りをもち自立に向かう生徒」から引用したものです。

生徒の皆さんには、今年一年間通して、

- 1 失敗しても良いこと。そして、成功体験を繰り返し、自分に自信をつけていくこと。
- 2 目標達成のために、仲間や地域の方々と創造したことに誇りをもち、自分を表現していくこと。
- 3 人から与えられるのではなく、自分の未来は自分で切り拓いていくこと。(自立、自律)

など、繰り返し伝えていこうと思います。保護者の皆様におかれましても、東北中学校へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

詩・100文字 提案作品集受賞作品

日本赤十字社福島県支部では、毎年、「子ども達が実践していること、思っていること」とを100文字で表現した作品を募集しています。東北中学校では、国語科の指導の下、多くの生徒が応募し、受賞しました。唯一県の中学校の中で「学

校賞」を受賞しました。これから、作品集に掲載された生徒の皆さんの作品を載せていきます。

わたしの青少年赤十字
 詩・百文字提案受賞作品
 「いのちの詩・愛の詩」
 白河市立東北中学校 一年 本間 楓香

私の誕生日に大好きな祖母がいなくなった。
 苦しい悲しい誕生日
 泣きながら思い出す
 毎日笑顔だった祖母が大好きだ
 だったらわたしも恩返し
 わたしが笑えば祖母も笑う
 笑顔の大切さを教えてくれた私の誕生日

わたしの青少年赤十字
 詩・百文字提案受賞作品
 「いのちの詩・愛の詩」
 白河市立東北中学校 二年 大谷 瑠花

私は元々産まれないはずの命だった
 母は元々産めないはずの体だった
 母はそう話した
 私も弟も元々生まれるはずのなかった命
 母と父に感謝したい
 今日明日も精一杯生きていきたい

